

3. 企業防災支援 GIS の機能拡張

落合 鋭亮

平成 17 年度に構築した企業防災支援 GIS（以下、本システム）に新たな機能を追加し、ユーザインターフェースを大幅に改修した。追加した機能を以下に示す。（図 1 参照）

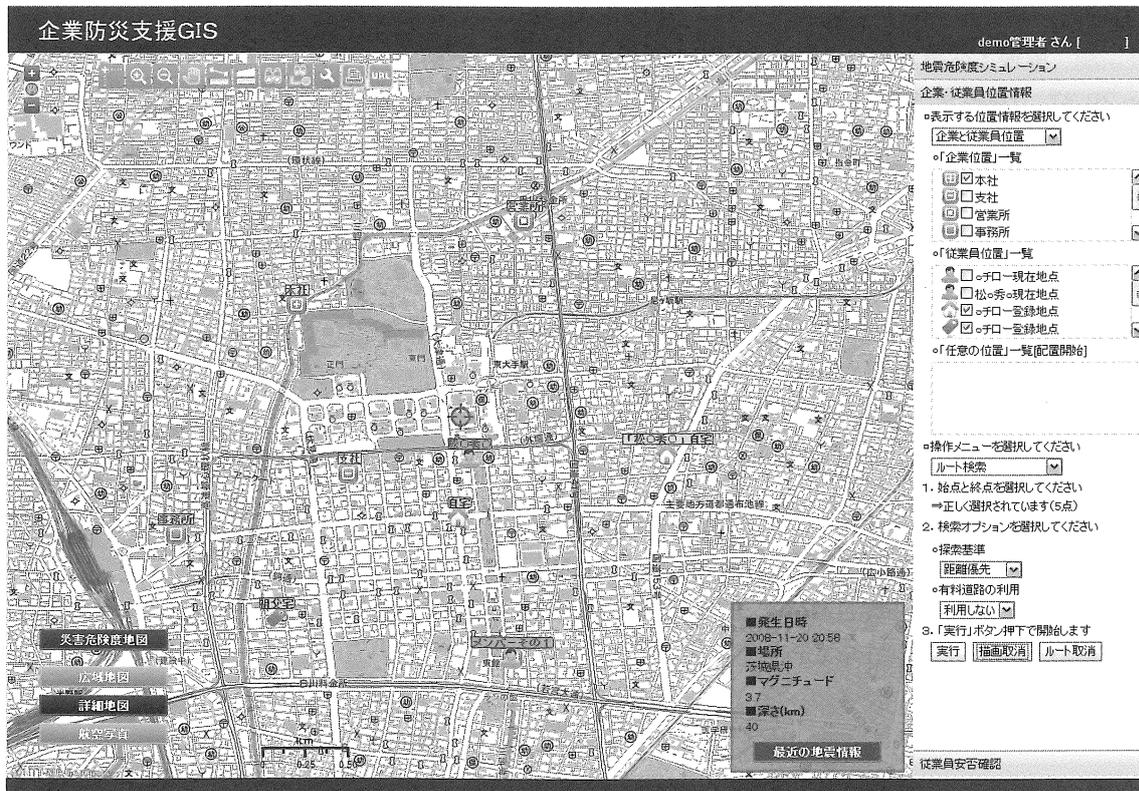


図 1

1. 本年度の機能拡張

平成 17 年度に構築した各種シミュレーション機能のユーザインターフェースを拡張し、弊社が開発を進めてきた MAPS メールシステムのユーザ情報や企業情報とも連携できるように機能拡張を実施した。主な機能を以下に示す。

1 地震災害ハザードマップの閲覧（図 2 参照）

本システムで閲覧できる地震災害ハザードマップを以下に示す。

- ・ 想定東南海地震震度予想マップ（独自解析）
- ・ 想定猿投 - 高浜断層震度予想マップ（独自解析）
- ・ 1854 年安政東海地震震度予想マップ（独自解析）
- ・ 1994 年昭和東南海地震震度予想マップ（独自解析）
- ・ 想定東海・東南海地震震度予想マップ（中央防災会議）
- ・ 想定東海・東南海地震液状化危険度マップ（中央防災会議）
- ・ 想定東南海地震震度予想マップ（中央防災会議）
- ・ 想定東南海地震液状化危険度マップ（中央防災会議）

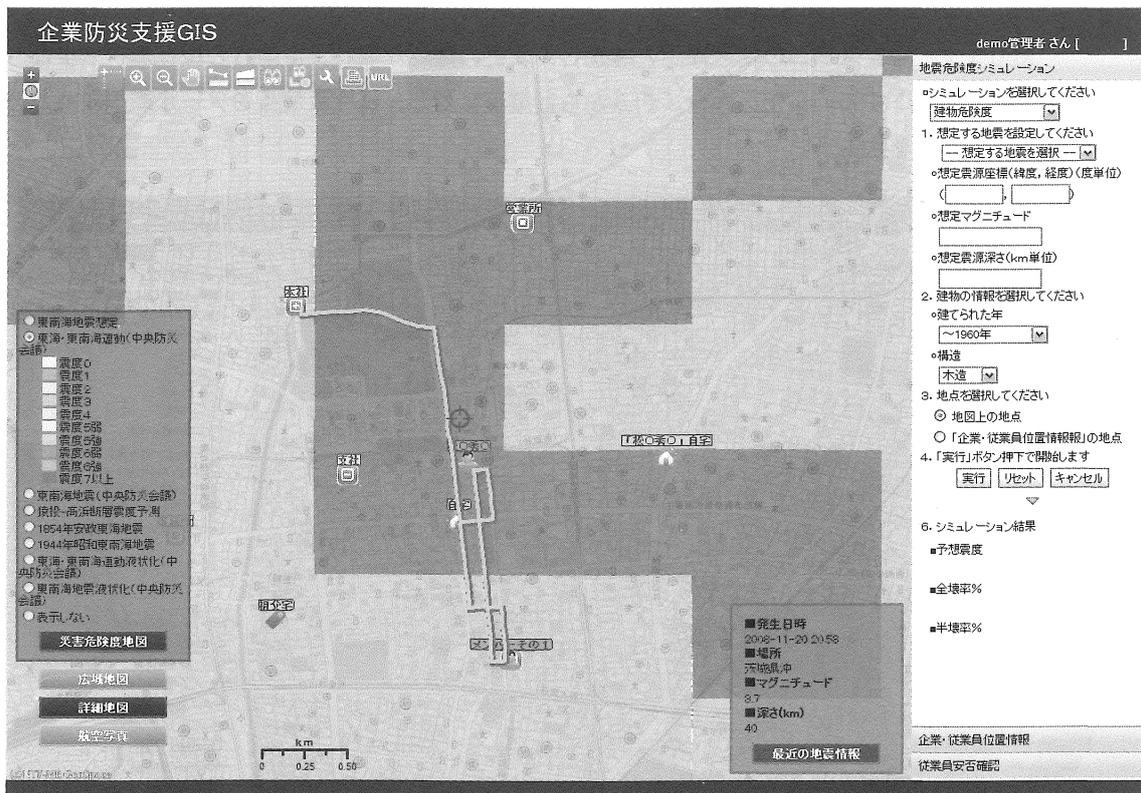


図 2

2地震危険度シミュレーション機能 (図 3 参照)

本システムでシミュレーションできる項目を以下に示す。

- 緊急地震速報シミュレーション

あらかじめ設定されている想定地震又は任意の地震情報を元に、ユーザが登録した場所での猶予時間、予想震度を解析し表示する。

- 建物危険度把握シミュレーション

あらかじめ設定されている想定地震又は任意の地震情報を元に、ユーザが登録した建物の築年数、構造を登録し、その建物の全壊率、半壊率を解析し、表示する。

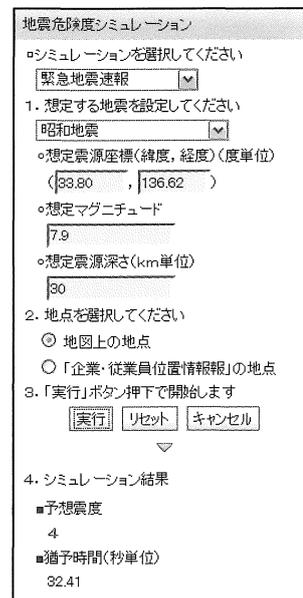


図 3

3従業員・企業情報閲覧機能 (図 4 参照)

MAPS メールシステムに登録されている従業員、企業、居住地情報を地図上にプロットし、その位置情報から様々な解析情報を表示する。主な機能を以下に示す。

- 災害時帰宅ルート検索機能

従業員の現在位置情報から会社や居住地へのルートを検索する機能

- 帰宅困難者リストアップ機能

従業員居住地データから災害時における帰宅困難者をリストアップする機能。

4MAPS メールシステム連携 (図 5 参照)

MAPS メールシステムの安否確認と連携し、安否の確認が取れた従業員の現在地データなどを地図上にプロットする。また、本システムから従業員に対し、様々な情報をメール配信することができるよう機能を拡張。

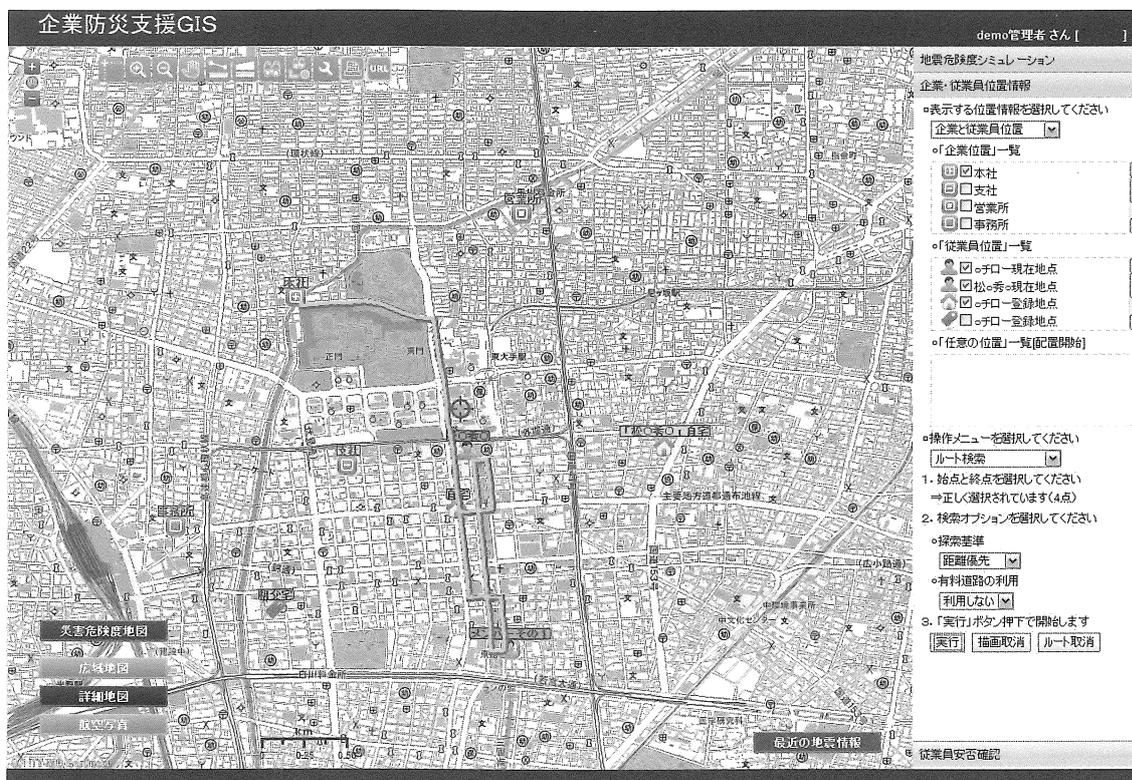


図 4

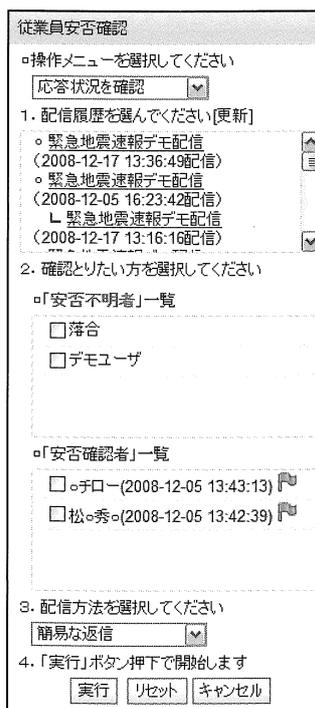


図 5